一本杉通り復興ニュース No.2

2024.8.28　一本杉通り振興会

一本杉通りの目指す姿や空き地・空き家の活用について議論しました

８月 23 日に行った第２回の話し合いでは、第１回目の議論を振り返ったのち、一本杉通りの目指す姿や、これからのまちなみのあり方、空き地、空き家・空き店舗の現状や活用について議論しました。

一本杉通りの目指す姿（案）

歴史を積み重ねてきた
”一本杉通り”を暮らしつなぐ

1. 商いをしたい、続けたいと思える通り
2. 住みたい、住み続けたいと思える通り
3. 来たい、また訪れたいと思える通り

検討中のため、修正される可能性があります。

聞き取り調査のお願い

復興計画を検討するにあたり、一本杉通り振興会の会員事業者を対象に、現況や今後の意向、商店街の将来像などに関して、お話を聞きにお伺いする予定です。

ご多忙のところ恐縮ですが、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

聞き取りは、
一本杉通り振興会のインターン生として
約１か月滞在している大学生が行います。



近藤 聖夏さん

東京出身の大学４年生です。
一本杉のファンを増やせるよう、頑張ります。
よろしくお願いいたします！



森 碧衣さん

横浜出身の大学２年生です。
能登に恩返しができるよう、頑張ります！
よろしくお願いいたします！

これからのまちなみのあり方

これからのまちなみについては、通り沿いのうち、特にまちなみを丁寧に検討すべきスポットについて話し合いました。また、よりしっかりした舗装の必要性、通りの早急の安全性確保の必要性についても、多くの指摘がありました。



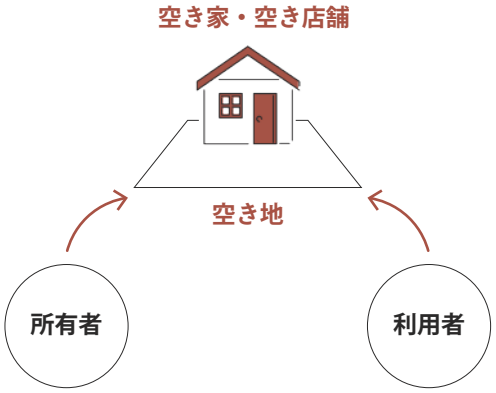
地震の前から道路舗装の修復は頻繁に必要でした

「空き」の活用

空き地、空き家・空き店舗は放っておくと、まちの課題になる可能性があります。その一方で、商い・生活・観光に活用できる可能性もあります。

空き地、空き家・空き店舗を地域で管理することで「まちづくりの資源」に転換している、他所の事例が紹介されました。

まずは空き地、空き家・空き店舗を地域でお預かりし、活用するような仕組みが必要だ、といったことが話し合われました。



管理やマッチングの
仕組みが必要

これからも「一本杉通りの目指す姿」を実現させるために
どのようなことに取り組むべきか議論を続けていきます！

これからの予定

2024年9月27日（金）19時から 寄合い処みそぎ にて第3回の話し合い
テーマ別に復興計画の内容を議論します。
話し合いへの参加を希望される方、ご意見がある方は、
一本杉通り振興会 高澤までぜひご連絡ください。

また、10月頃または11月頃に、その時点での案を地域のみなさまに説明し、ご意見を募集する集会を開けないか、検討しています。

企画：一本杉通り振興会　（連絡先：53-0406）
作成：東京都立大学 益邑 明伸　（連絡先：masumura@tmu.ac.jp）

2024.12.2 誤字脱字を修正